

第25回学都仙台コンソーシアム定期総会議事録（要旨）

1. 日時

平成30年6月18日（月）10時30分～11時40分

2. 場所

仙台国際ホテル 広瀬の間（仙台市青葉区中央4丁目6番1号）

3. 出席者

28 会員機関（出席者の役職名・氏名は＜別紙＞資料参照）

石巻専修大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院短期大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、放送大学宮城学習センター、宮城学院女子大学、宮城教育大学、宮城誠真短期大学、宮城大学、仙台高等専門学校、公益財団法人仙台観光国際協会、仙台商工会議所、一般財団法人東北多文化アカデミー、宮城県、仙台市（委任状）東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部、東北福祉大学、一般社団法人みやぎ工業会、国立研究開発法人理化学研究所

4. 定足数の確認等

会長校事務局より、本会規約により本総会は成立する旨の報告があった。また、代表者変更のあった東北大学の野大野総長、仙台大学の遠藤学長、東北芸術工科大学の中山学長、宮城教育大学の村松学長、仙台観光国際協会の村山理事長の紹介と挨拶があった。

5. 議長選出

規約第14条第5項に基づき、平川会長を議長に指名した。

6. 議事録署名人の選出

規約第17条第1項に基づき、仙台青葉学院短期大学の鈴木学長、東北工業大学の今野学長を議事録署名人に選出した。

7. 議事

第6号議案 平成30年度事業部会の部会長の指名について

議事進行上、第6号議案を先に審議することとし、平成30年度事業部会の部会長の指名について、会長校事務局より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

また、新部会長となられたサテライトキャンパス部会の岡部会長より挨拶があった。

第1号議案 平成29年度事業報告について

平成29年度事業報告について、会長校事務局及び各事業部会長より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

第2号議案 平成29年度収支決算及び特別会計収支決算について

平成29年度収支決算及び特別会計収支決算について、初めに前会長校事務局より、続いて復興大学事業部会の石川部会長より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

第3号議案 平成29年度監査報告について

平成29年度監査報告について、聖和学園短期大学長の鳴海監事より、配付資料に基づき説明が行われ、事業及び収支決算については正確かつ適正に処理されていることを認めた旨の報告がなされ、審議の結果、原案のとおり承認された。

第4号議案 平成30年度特別会計収支予算(案)について

平成30年度特別会計収支予算(案)について、復興大学事業部会の石川部会長より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

第5号議案 平成30年度運営委員会委員の変更選出について

平成30年度運営委員会委員の変更選出について、会長校事務局より配付資料に基づき説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認された。

8. 報告事項

(1) 平成30年度各事業部会の活動報告について

【単位互換事業部会】

徳永部会長より、配付資料に基づき、活動状況について報告がなされた。

- ・平成30年度前期の単位互換ネットワーク履修科目について、受講科目の履修者数が今年度34科目79名（昨年度21科目52名）に増加している。
- ・平成30年度予算について、サテライトキャンパス単位互換科目に追加があったため予算が追加されている（会場費は出講大学負担のため、全体の収支に影響なし）。

【サテライトキャンパス事業部会】

岡部会長より、配付資料に基づき、活動状況について報告がなされた。

- ・平成30年度サテライトキャンパス公開講座の開講予定コマ数は、前期については20コマで確定したが、後期について現在16コマは確定しているが予定日程に空きがあるので、追加募集を依頼している。加盟機関大学等の講座開設について積極的な協力をお願いしたい。

【広報事業部会】

藤王部会長より、配付資料に基づき、活動状況について報告がなされた。

- ・平成30年度は継続事業として、①ホームページの更新・充実 ②広報サポートスタッフ活動への支援 ③学都仙台コンソーシアムリーフレットの作成 ④広報サポートスタッフが作成したG.S.C.フリーペーパーの発行 ⑤オープンキャンパスを利用した広報活動を予定している。
- ・ウェブサイトのスマートフォン対応化については、平成31年度実施に向けて検討したい。
- ・広報サポートスタッフのメンバーは、今年度5機関9名（昨年度2機関6名）となり、より広い

機関からの参加となっている。

【企画事業部会】

千葉部会長より、配付資料に基づき、活動状況について報告がなされた。

- ・平成30年度の事業計画として、①教員免許状更新講習システム共同事務サーバーの運用 ②FD・SDに関するワークショップ、シンポジウムの情報公開 ③各種企画の立案 ④FD研修会の開催 ⑤全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム参加（9月1日・2日 公立ほこだて未来大学） ⑥仙台学長会議共催シンポジウム（今年度は予定なし） ⑦国際交流事業検討委員会の開催を予定している。
- ・上記④FD研修会の開催は、新規の取組み。他は、継続事業。

【復興大学事業部会】

石川部会長より、配付資料に基づき、活動状況について報告がなされた。

- ・平成30年度は継続事業として、①復興人材育成教育事業（東北工業大学・石巻専修大学） ②教育復興支援事業（宮城教育大学） ③企業支援ワンストップサービス事業（東北工業大学・石巻専修大学） ④災害ボランティアステーション事業（東北学院大学・尚絅学院大学）を予定している。
- ・復興大学県民講座および開講記念シンポジウムについての周知依頼。

（2）その他

①平川会長より、5月31日に開催された仙台学長会議からの付託事項として、以下の2点について報告があり、企画部会において検討を進めることで承認された。

- ・『地方大学・地域産業創生事業等』について

地方大学・地域産業創生事業等について、宮城大学の川上学長より、コンソーシアムを利用して何らかの方策を検討できないかとの提案がなされた。

- ・『学都仙台で学ぼうキャンペーン』について

学都仙台で学ぼうキャンペーンについて、尚絅学院大学の合田学長より、個々の大学単体ではなく行政・経済界が一体となって検討が必要との提案がなされた。

このことについて、東北多文化アカデミーの押谷代表理事よりインバウンドの促進について、仙台高等専門学校福村校長より学都にふさわしい支援の必要性について発言があった。

②平川会長より、イオンモール雨宮（旧東北大学農学部跡地）の開発について、イオンモール(株)よりリカレント拠点施設に対する協力要請の申入れがあったことが報告され、このことについても企画部会に検討を付託することで承認された。